

## 何万回もの積み重ね

学校総合体育大会熊谷予選会が、明日のサッカー部の試合を皮切りにスタートします。先ほどの部長の力強い言葉に頼もしさを感じました。そして、その言葉をしっかりとした姿勢で受け止めている生徒の皆さんの様子に、三尻中学校の一体感を感じました。

皆さんは、プロバスケットボール選手の田臥勇太選手を知っているでしょうか。アメリカのプロリーグNBAで、今でこそ八村塁選手や渡邊雄太選手が活躍していますが、日本人初のNBA選手としても有名です。身長は170cmそこそこですから、バスケットボール選手としては小柄です。それでも、スピードとセンスの良さで注目を浴び続けてきました。41歳となった現在でも日本のトップチーム・宇都宮ブレックスで活躍しています。その田臥選手が、NBAのコートに立った心境を、こんな言葉で表現しています。

*何回も小さいから無理だと言われ、何回も大男が落ちてきてケガをし、  
何日も眠れない夜を過ごし、何回も逃げ出そうとした。  
けれど、何万回もパスをし、何万回もドリブルして、何万回も相手をフェイクし、  
何万回も速攻を出し、何万回もシュートを打って、僕はアメリカのコートに立った。*

バスケット部の皆さんは、田臥選手と同じように、つらいこと、苦しいことを乗り越え、何万回もパスを出し、シュートを打っていると思います。種目こそ違っても、中学校に入学してから2年間で、野球部やソフト部の皆さんは、何万回もボールを投げたり、バットを振ったりしたでしょう。サッカー部も、バレー部も、ソフトテニス部、卓球部、剣道部、陸上部、第2陸上部、それぞれが同様に、何万回もの積み重ねをしてきたのだと思います。それは、運動部だけでなく吹奏楽部・生活芸術・美術部の皆さんも同じです。

3年生にとっては最後の大会に臨む今、改めて、これまでの何万回もの積み重ねに思いをはせてください。自信を感じることもできるはずです。そして、皆さんの積み重ねを支えてくれた、先輩や仲間、お家の人や先生に寄せる感謝の気持ちをもってください。

大会当日、各種目の競技会場をまわり、全ての部を応援します。頑張ってください。